

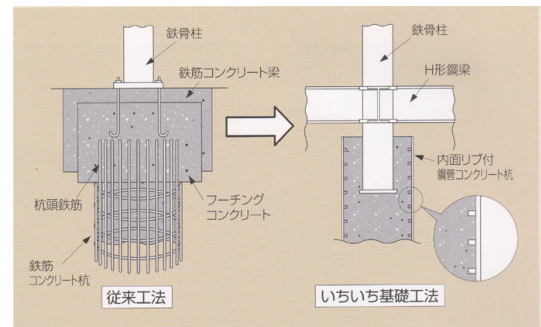
<p>【技術の名称】 いちいち基礎工法 -鋼管柱と内面リブ付き鋼管コンクリート杭を一体化させる基礎工法-</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第02-10号 性能証明発効日：2002年9月3日 【取得者】 日本鋼管株式会社（現 JFE スチール株式会社）</p>
---	--

【技術の概要】
 本工法は、コンクリート充填鋼管（CFT）構造または鋼管構造の柱を内面リブ付き鋼管コンクリート杭に直接埋め込み、両者を一体化させた構造を構築する工法である。本工法では、鉄骨造基礎梁または鉄骨コンクリート基礎梁を配置することを原則とし、基礎梁下には、杭に直接埋め込まれる杭上部柱を配置することとしている。本工法によると、従来のフーチングをなくし、上部構造と基礎構造を力学的に明快に接合することができ、かつ、現場施工の合理化を図ることができる。

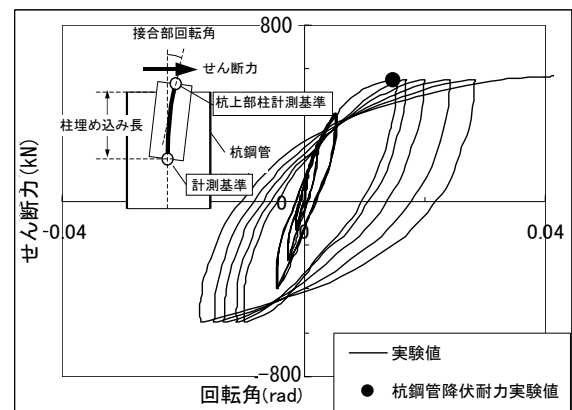
【技術開発の趣旨】
 従来工法による鋼管コンクリート杭を用いた基礎構造では、上部構造の柱と基礎梁がフーチングを介して杭に接続される。この場合、杭鋼管とフーチングとの接合部等では、鉄筋の配筋工事や杭鋼管と鉄筋との現場溶接の施工品質の確保が難しいことと相俟って、設計で保証すべき耐力と剛性を確実に実現するためのディテールが必ずしも明らかでない。本工法は、これらの問題を解消することを意図して開発したものである。

【性能証明の内容】
 本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。
 申込者提案の設計指針・施工指針に従って設計、施工した柱と杭の接合部は、設計で保証すべき長期荷重時および短期荷重時の構造性能を有し、上部構造の終局耐力時に接合部に作用する力以上の終局耐力を有すると判断される。また、この接合部に接続する杭上部柱の回転剛性

は、設計指針で提示している方法によって評価できると判断される。



いちいち基礎工法の概要



接合部載荷実験のせん断力-回転角関係の例



施工実施状況

【本技術の問合せ先】

JFE スチール株式会社 建材開発部 担当者：沖晃司 E-mail：k-okii@jfe-steel.co.jp
 〒100-0011 東京都千代田区内幸町2丁目2番3号 Tel：03-3597-4129 Fax：03-3597-3825